

同時配布先：中部地方整備局記者クラブ
名古屋市政記者クラブ
名古屋経済記者クラブ

平成 23 年 1 月 5 日

スリランカ民主社会主義共和国における 「協力準備調査（BOPビジネス連携促進）」の仮採択について

水のいのちとものづくり中部フォーラム
豊田通商株式会社
名古屋市上下水道局

「水のいのちとものづくり中部フォーラム」会員である豊田通商株式会社は、このたび、独立行政法人国際協力機構（JICA）から、スリランカ民主社会主義共和国における「協力準備調査（BOPビジネス連携促進）」の仮採択を受けましたので、お知らせいたします。

*BOP・・・Base of the Pyramidの略。世界の所得別人口構成の中で、最も収入が低い所得層を指す言葉。個人所得は低いが人数は最多で、総需要は大きい。

本調査は、スリランカ民主社会主義共和国における未給水地域において、安全で良質な水を安定供給することにより、衛生的で快適な生活を提供するコミュニティ水供給をビジネスとして立ち上げるための調査であり、平成 23 年 2 月から行われ、最長 3 年間実施される予定です。

1 水のいのちとものづくり中部フォーラムの概要と応募の経緯

本フォーラムは、中部地域の産・学・官が連携し、異業種の企業同士が地域に根ざした水技術や経験を活かし、世界的な水問題の解決と水ビジネス展開及び国際貢献につなげることを目的として平成 21 年 6 月に発足しました。

フォーラムの会員は、118 の企業・団体が加入しています。（幹事会会員 33 団体、一般会員 85 団体）（平成 23 年 1 月 5 日現在）

その中で豊田通商株式会社は、情報収集チーム及び情報発信チームのリーダーとして、これまでに中部地域の水技術を展開できる国を検討してきており、予備調査をした結果、スリランカを選定し今回の応募を行いました。

また名古屋市上下水道局は、国内展開支援チームリーダーとして活動を実施していますが、本調査に関しては、スリランカとの人的なネットワークの協力や緩速ろ過の浄水技術に関する協力を行っています。

2 仮採択の調査概要

(1) 調査地域

スリランカ民主社会主義共和国（コロンボ郊外ほか）

(2) 調査名

未給水地域における水供給事業の検討

(3) 主な内容

低コストで安全・良質な水を供給する、緩速ろ過の適用も含めた事業の実現可能性の調査、本事業と他の J I C A 事業との連携可能性の調査

*緩速ろ過・・・緩速ろ過は微生物による浄水技術であり、省エネで凝集剤を使わずに良質な水道水が得られる優れた技術です。名古屋市では、鍋屋上野浄水場において約 100 年運営してきた（現在、整備中）。

<お問い合わせ先>

水のいのちものづくり中部フォーラム事務局

（社団法人中部経済連合会 開発部）山田、水田

TEL:052-962-8091